

国保京丹波町病院デジタルX線TV装置購入仕様書

1 メーカー・品名・形式

メーカー	東芝メディカルシステムズ株式会社
品名	デジタルX線TV装置
形式	ZEXIRA

2 機器構成

購入予定のデジタルX線TV装置は下記の機器構成以上を備えていることとする。

名	称	型番	数量
デジタルX線TV装置 内訳)		東芝 ZEXIRA	1式
1	デジタルX線TVシステム	DREX-ZX80/P2	1
2	近接操作卓	LCZ-30L	1
3	MWMサービス機能	HDRK-MWM	1
4	近接操作卓用キーパッド	HDRK-KEY	1
5	アドバンスアンギオパッケージ	HDRK-ANG2	1
6	サブデスク	DSK-038Z	1
7	管球前後動ユニット	DBZK-TBFB	1
8	フットスイッチ(2連タイプ、透視・撮影用)	FSW-20X	1
9	モノクロLCDモニタ	ML19193	3
10	モニタ台車(2台置き用)	XAMC-200L	1
11	内装工事		1
12	漏洩線測定資料作成費用		1
13	既設富士ドライプリンター接続費		1

3 本体機能等

購入予定のデジタルX線TV装置は別紙デジタルX線TV装置の性能・機能仕様書以上の性能を備えていることとする。

4 納入期限

購入予定のデジタルX線TV装置は、平成25年2月28日(木)までに搬入、据付、配線、調整をすることとする。

5 納入場所

購入予定のデジタルX線TV装置は、国保京丹波町病院に納入することとする。

6 内訳書に関すること

入札書の提出に併せ、所定の内訳書を提出すること。

提出が無かった場合、又は所定以外の様式による内訳書を添付し、入札した場合、入札書が無効として取り扱うので留意すること。

詳細については、入札共通事項3（3）内訳書を参照すること。

7 その他

- ・購入予定のデジタルX線TV装置は、新品とする。
- ・内訳書金額には設備等の搬入、据付、調整点検等の費用を含むこととする。
- ・入札機器のうち薬事法に基づく製造承認が必要な医療機器に関しては、入札時点で薬事法に定められている製造の承認を得ている物品であることとする。
- ・納入業者は現在国保京丹波町病院にあるX線TV装置の処分も含むこととする。

デジタルX線TV装置の性能・機能仕様書 (別紙)

デジタルX線TV装置は以下の要件以上を満たすこととする。

1-1 透視撮影台は以下の要件を有すること。

- 1-1-1 オーバーチューブ方式であること。
- 1-1-2 寝台は昇降式であり、床上48cm～120cmの範囲で透視または撮影が可能なこと。
- 1-1-3 天板形状は体にフィットしやすい凹面タイプであり、バリウム等のゴミがたまりにくい構造であること。
- 1-1-4 天板の材質はC.F.R.P製であること。
- 1-1-5 天板の大きさは223cm以上×76cm以上であること。
- 1-1-6 天板の起倒範囲は89°～0°～-89°の範囲であること。
- 1-1-7 立位時、事前に設定した場所で起倒を自動的に止めることができること。
- 1-1-8 寝台の起倒速度は、最高15秒/90°以上であること。
- 1-1-9 天板横手方向移動距離は30cm以上であること。
- 1-1-10 X線管入射角度は体軸に対して頭側に35度以上、足側に30度以上であること。
- 1-1-11 透視撮影の映像系の移動距離は133cm以上のストロークであること。
- 1-1-12 SID(焦点～FPD間)は140cm以上の設定が可能であること。
- 1-1-13 消化管用の圧迫筒を有し、バリウムカップ受け、ハンドグリップを有すること。
- 1-1-14 撮影台に別付け可能な高集音機能を有する検査質マイクを有すること。
- 1-1-15 低反発素材マットを有すること。

1-2 近接操作卓は以下の要件を有すること。

- 1-2-1 可動式にて近接操作が行え、透視及びデジタル撮影が可能なこと。

1-3 X線高電圧発生装置は以下の要件を有すること。

- 1-3-1 発生方式はインバーター方式であること。
- 1-3-2 最大出力は、80KW以上であること。
- 1-3-3 最大管電圧が、150KV以上であること。
- 1-3-4 最大管電流は、1000mA以上であること。
- 1-3-5 最短撮影時間は1msec以下であること。
- 1-3-6 自動露出機能を有すること。
- 1-3-7 遠隔、近接操作卓上で透視線量を1タッチで3段階切り替えられる低線量モードを有すること。

1-4 X線管装置は以下の条件を満たすこと。

- 1-4-1 X線管球冷却方式は、油冷方式であること。
- 1-4-2 焦点サイズは2焦点以上を有し、0.4mm/0.6mm以下であること。
- 1-4-3 最大陽極蓄積熱容量が600KHU以上であること。

1-5 検出器は以下の要件を満たすこと。

- 1-5-1 半導体検出器(フラットパネルディテクタ)であること。
- 1-5-2 有効視野サイズは一辺が42cm×42cm以上であること。
- 1-5-3 4種類以上の視野サイズを選択切り替えできかつ、最小視野サイズは一辺が12cm×12cm以下であること。
- 1-5-4 撮影のダイナミックレンジは16bit以上であること。
- 1-5-5 画素ピッチは148μm以下であること。

1-6 モニタは以下の要件を満たすこと。

- 1-6-1 撮影室側のライブ、リファレンスモニタはそれぞれ台車ベースであること。
- 1-6-2 操作室のライブモニターは、19インチ以上で1200×1024マトリクス以上の液晶モニターを有すること。
- 1-6-3 操作室におけるリファレンスモニターは、19インチ以上で1600×1200マトリクス以上であること。

1-7 画像収集及びDR装置本体機能は以下の要件を満たすこと。

- 1-7-1 透視モードは連続透視が可能なこと。
- 1-7-2 透視は、1024×1024マトリクス、14bit以上のモードで、15fps以上が可能なこと。
- 1-7-3 撮影は、1024×1024マトリクス、16bit以上のモードで、15fps以上が可能なこと。
- 1-7-4 撮影モードでは単発撮影、連続撮影、分割撮影が可能なこと。
- 1-7-5 撮影マトリクスは最大3072×3072以上が可能であること。
- 1-7-6 撮影マトリクスは16bit以上のモードが可能であること。
- 1-7-7 画像処理は、最大3072×3072マトリクス16bitでの処理が可能なこと。
- 1-7-8 透視、撮影画像収集は、最大15fps以上が可能なこと。
- 1-7-9 収集した透視画像は、一画像ずつDICOM画像として保管、転送できること。
- 1-7-10 透視画像のラストイメージホールド(L.I.H)が可能なこと。
- 1-7-11 透視画像の白飛びをリアルタイムで画像処理できる透視用のデジタル補償フィルタ機能を有すること。
- 1-7-12 透視画像の左右上下反転機能を有すること。

1-8 画像保管機能として以下の要件を満たすこと。

- 1-8-1 大容量高速ハードディスクを複数台装備で、収集データは直接本体ハードディスクに保存され、ミラー化された画像の保存が可能なこと。
- 1-8-2 本体の画像用ハードディスク容量は320GB以上であること。
- 1-8-3 本体への画像保存は、撮影マトリクス1024×1024、16bit以上のモードで、70,000画像以上保存できること。
- 1-8-4 本体とは別に本体から透視スイッチと連動して透視画像を収集するHDDとモニタを構成すること。
- 1-8-5 本体とは別に本体からDICOM strage可能なPC端末1台と2Mモノクロモニタを構成すること。

1-9 ネットワーク機能

- 1-9-1 DICOM strageに対応可能なこと。
- 1-9-2 DICOM prontに対応可能なこと。
- 1-9-3 DICOM MWMに対応可能なこと。